



学校だより

調布市立調和小学校
令和7年2月28日(金)
校長 武田 美穂子

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chowa-sho>

Mail: chowa-sho@chofu-schools.jp

春はそこまで

校長 武田 美穂子

花のつぼみも膨らみはじめ、春の訪れを間近に感じる今日この頃となりました。どの子供も一日一日の積み重ねを経て大きな成長となった令和6年度。保護者の皆様、地域の皆様の多大なる御理解、御協力のおかげをもちまして、無事に年度末を迎えることができそうです。

3月24日(月)には令和6年度修了式と教育職員の離任式、3月25日(火)には第26回卒業式を挙行する予定です。今年は120名の卒業生が本校から羽ばたいていきます。どうぞ皆さま、これからも本校卒業生をあたたく見守っていただければ幸いです。

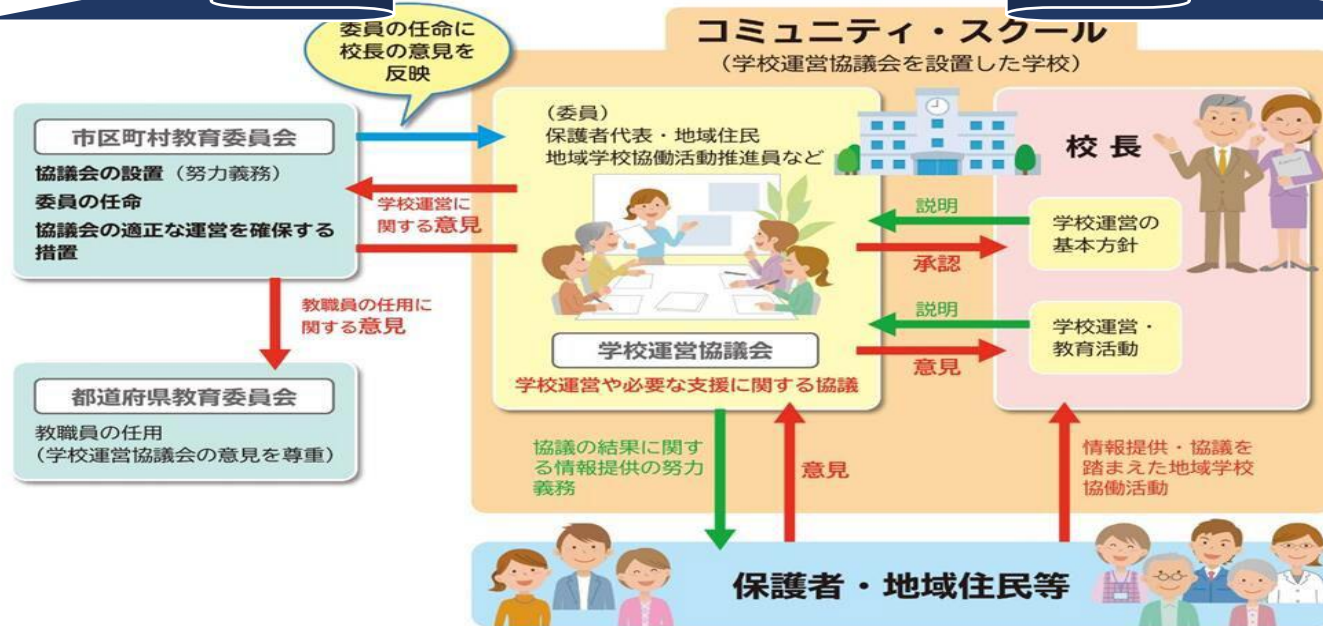


別れもあれば、出会いもあります。令和7年度の幕開けも近付いて参りました。従来の教育活動に加え、今年度の成果と課題を生かし、調和小学校では一層の改善、推進、新規の取り組みとして計画をしています。その中でも大きな取り組みの一つとなるのが「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」の導入です。

コミュニティ・スクールは、保護者や地域住民の皆さんが責任をもって学校運営に参画する仕組みで、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5で定める学校運営協議会(合議制の機関)を設置した学校を指し、「地域とともにある学校づくり」を推進することを目的とした国の制度になります。

学校・家庭・地域が同じ目標やビジョンを共有し、参加するだけではなく、それぞれが当事者意識をもって子供たちの教育に携わる参画の気運を高めるとともに、校長や教員の異動があっても子供たちに安定した教育の機会を提供できるよう、学校・家庭・地域との組織的・持続的な連携・協働体制を構築することも重要です。学校が教育活動に注力できるよう、学校運営協議会では学校・家庭・地域が担うべき役割や活動を整理するという役割も担います。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の仕組み



※文部科学省「これからの学校と地域」参照のうえ作成

最後になりましたが昨年の4月、体育館で行いました全学年一斉保護者会の際に「この教職員集団全員が3月末まで、お子様方とともに、誰一人欠けることなく、駆け抜けることができる1年間になるよう、保護者の皆様のご理解、ご協力をお願いします」と話をさせていただきました。おかげさまで教職員が長期にわたってお休みを取ることなく(出産・育児は除きますが)、皆様のご支援の下、互いが支え合い頑張ってきました。私はそんな本校の教職員を誇りに思います。ご理解、ご協力、ご支援を賜りました皆様、この場を借りてあらためて御礼申し上げます。どうぞ令和7年度も子供たちの明るい声と笑顔があふれる学校となるよう、応援よろしくお願いいたします。

3学校ホームページ、いつもご覧いただきありがとうございます。3月も毎日更新予定です。ぜひご覧ください!